

美郷町商工会・美郷町企業連携協議会 新入社員の集い

3月26日に、名水市場湧太郎で美郷町商工会（近藤道哲会長）と美郷町企業連携協議会（齊藤伸英会長）による新入社員の集いが開催され、この春、町内企業に入社する9事業所19名と関係者などが出席しました。式では、近藤道哲町商工会会長の激励のあいさつに続き、新入社員を代表して菅原豪さんが「本日の感謝、感激を忘れず、一日も早く、社会人としての責任を持って仕事ができるよう、日々精進していきます」と抱負を述べました。

式典終了後には講演会と研修会が開催され、松田町長が社会人としての心構えについて講演し、北都銀行人事部の伊藤末子さんはあいさつや言葉遣いなどのビジネスマナーについて指導しました。



みんなの心がけで交通事故のない地域にしよう 春の交通安全運動

春の交通安全運動の開催に併せて、美郷地区交通安全協会（戸沢信一会長）の祈願祭が4月8日に大仙警察署美郷交番で行われました。祈願祭には、交通安全協会員や警察署員、町職員ら約30名が出席。読経の後、戸沢会長と渡部信雄大仙警察署長が代表して交通安全祈願塔に拝礼しました。戸沢会長は「交通事故の大半は高齢者が関係している。交通安全意識を啓発し、事故防止に努めたい」と今年の交通安全を誓いました。

また、4月8日から10日にかけて町内3カ所でテント村を設置し、交通安全協会員や交通指導隊員らが道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。



2tトラック2台分のごみを回収しました 水辺環境クリーンアップ作戦

4月21日に、仙南地区を流れる出川で水辺環境クリーンアップ作戦が開催され、町内外から約140名のボランティアが参加しました。クリーンアップ作戦は、中島橋を起点に参加者が上流と下流の2班に分かれて実施。川沿いに散乱する空き缶やペットボトル、廃ビニールなどを手で拾い集めたほか、竹竿を用いて川の中のごみをたぐり寄せ取り除きました。当日はあいにくの雨模様でしたが、参加者たちは雨具などを着用しながら清掃活動に没頭し、約2時間の清掃作業で2tトラック2台分のごみを回収しました。



地元の子どもたちと交流を深めました 大田区子どもガーデンパーティー

4月21日に、東京都大田区の六郷文化センターと高畑小学校で「第62回大田区子どもガーデンパーティー」が開かれ、町内の小学校6年生児童6名が参加しました。このイベントは、友好都市東京都大田区で毎年開催されているもので、地域の方たちの手による子どもたちのためのお祭りです。

雨天のため室内での開催となった今回のガーデンパーティーでしたが、参加した児童たちは地元の子どもたちと一緒に、パラスシュート作りや射的などいろいろな遊びを楽しんでいました。



第3回 町議会議 臨時会

平成25年第3
回町議会議臨時会
が3月25日に開
かれました。可
決された議案の
概要は次のとお
りです。



可決された案件

■平成24年度美郷町一般会計補正予算第12号

平成24年度大規模補正に伴う農村整備、道路舗装補修工事、中央・南体育館耐震改修工事にかかる経費などを追加し、歳入歳出予算の総額を119億8087万円としました。

■平成24年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第4号

■平成25年度美郷町一般会計補正予算第1号

「平成24年度美郷町一般会計補正予算第12号」で平成25年度予算の一部を平成24年度予算に計上したことに伴い、事業費などを減額し、歳入歳出予算の総額を106億9988万6千円としました。

ニテコ炭酸水

美郷町長 松田知己

風



日本航空株式会社との連携協力協定締結式であいさつを述べる松田町長

爽やかな時期になりました。春の日差しを浴びながら新緑に目を向けると、今冬の豪雪がはるか昔のような気になってくるあたり、人間とはうまくできたものです。のど元過ぎると何とやらです。みなさんはいかがでしょうか。

そして、こども爽やかになると誰しもが心軽くなり、何となくウキウキした気分です。鼻歌の一つも出てくるもの。私はなぜかこの時期、竹内まりやさんが歌

った「キ〇〇レモン」（商品名はあえて出しません）のCM曲が浮かんできます。ちなみに3月になると矢野顕子さんの「春先小紅」、8月にはチューブの「シーズン・イン・ザ・サン」が私の定番です。自分では記憶ありませんが、何かウキウキした気分の時に聴いていた曲なんでしょうね、きっと。

こういうことは音楽のみならず、実は食べ物や飲み物でもあるのではないかと思います。例えば、ウキウキした時にはどうも私は「フライドチキン」を食べたくなるし、カクテルでは「ソルティードッグ」を飲みたくくなります。人それぞれでしょうが、記憶しているかどうかは別に、気分と不離一体になっている何かの存在があるので

はないかと思うところです。

さて、先般、町の第三セクター「六郷まちづくり株式会社」が、新商品「ニテコ炭酸水」を発売しました。新たな水関連特産品で町の特色を強めたいと考えていたところ、巷で流行の炭酸水を美郷で作れるのではないかと首都圏の友人から提案がありました。会社の努力の結果、飲み口爽やかに仕上がっています。是非ともサイダーや地酒とともに、名水アピールする特産品に成長してもらいたいと思います。その上で何かいい気分になりたい時など、自然に「飲みたいなニテコ炭酸水」と言われる存在になることも期待しています。そのためにも、まずはみなさんからどんどんご利用いただきたいと思います。現在、町内15カ所で販売中です。

何かきな臭さが伴う社会環境ですが、のど元過ぎるものは爽やかにいきたいものです。それこそ、美郷の地域イメージだろうと思いますので・・・。